

2014年12月19日
AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

2014年度上半期連結業績の報告

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社の日本の会計基準に基づく2014年度（平成26年度）上半期（4月1日～9月30日）の連結業績についてお知らせいたします。

なお、当連結会計年度よりアメリカンホーム医療・損害保険株式会社が当社の連結子会社に加わりました。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期別	2013年度連結会計期間末 (2014年3月末時点)	2014年度中間連結会計期間末 (2014年9月末時点)
科目	金額	金額
(資産の部)		
現金及び預貯金	37,750	52,537
有価証券	1,162,121	1,289,646
貸付金	24,799	26,051
有形固定資産	37,118	38,204
無形固定資産	4,725	12,984
その他資産	97,807	128,999
退職給付に係る資産	3,483	3,440
繰延税金資産	34,478	32,318
貸倒引当金	△ 1,288	△ 1,119
投資損失引当金	△ 46	△ 42
資産の部合計	1,400,950	1,583,020
(負債の部)		
保険契約準備金	1,168,901	1,288,387
支払備金	115,182	128,981
責任準備金等	1,053,719	1,159,405
その他負債	90,737	134,858
退職給付に係る負債	16,411	17,802
役員退職慰労引当金	552	502
賞与引当金	1,665	4,809
価格変動準備金	2,140	2,466
繰延税金負債	3,730	4,763
再評価に係る繰延税金負債	1,991	1,991
負債の部 合計	1,286,132	1,455,583
(純資産の部)		
資本金	12,148	12,148
資本剰余金	85,338	96,835
利益剰余金	△ 5,946	△ 11,618
株主資本合計	91,540	97,365
その他有価証券評価差額金	36,518	44,073
土地再評価差額金	△ 9,324	△ 9,324
退職給付に係る調整累計額	△ 3,916	△ 4,676
その他の包括利益累計額合計	23,277	30,071
純資産の部 合計	114,818	127,437
負債及び純資産の部合計	1,400,950	1,583,020

2014年度からアメリカンホーム医療・損害保険株式会社が連結対象となりました。

(単位:百万円)

期別	2013年度 中間連結会計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	2014年度 中間連結会計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
科目	金額	金額
経常収益	222,311	261,978
保険引受収益	210,613	248,097
正味収入保険料	167,777	203,556
収入積立保険料	4,167	2,638
積立保険料等運用益	3,680	3,616
生命保険料	33,848	35,847
支払備金戻入額	825	1,544
その他保険引受収益	314	893
資産運用収益	7,619	12,016
利息及び配当金収入	9,106	10,706
有価証券売却益	1,780	4,872
有価証券償還益	0	8
金融派生商品収益	67	-
その他運用収益	345	45
積立保険料等運用益振替	△3,680	△ 3,616
その他経常収益	4,078	1,864
経常費用	215,891	266,234
保険引受費用	159,613	182,388
正味支払保険金	85,092	93,397
損害調査費	10,700	12,259
諸手数料及び集金費	19,097	16,926
満期返戻金	18,771	14,347
契約者配当金	2	1
生命保険金等	3,637	4,507
責任準備金等繰入額	22,095	40,407
その他保険引受費用	215	540
資産運用費用	264	575
有価証券売却損	80	257
有価証券評価損	115	29
有価証券償還損	4	4
金融派生商品費用	-	244
その他運用費用	63	39
営業費及び一般管理費	54,824	82,446
その他経常費用	1,189	822
支払利息	111	64
貸倒損失	0	0
その他の経常費用	1,077	757
経常利益(または経常損失)	6,420	△ 4,255
特別利益	0	10
固定資産処分益	0	10
特別損失	405	263
固定資産処分損	188	5
減損損失	48	-
価格変動準備金繰入額	168	257
税金等調整前中間純利益(または中間純損失)	6,014	△ 4,508
法人税及び住民税等	170	175
法人税等調整額	6,737	765
法人税等合計	6,908	941
少数株主損益調整前中間純損失	△893	△ 5,449
中間純損失	△893	△ 5,449

2014年度からアメリカンホーム医療・損害保険株式会社が連結対象となりました。

AIGジャパン・ホールディングス株式会社
 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

期別	2013年度 中間連結会計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	2014年度 中間連結会計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
科目	金額	金額
少数株主損益調整前中間純損失	△893	△5,449
その他の包括利益	1,336	6,548
その他有価証券評価差額金	1,330	6,021
退職給付に係る調整額	-	454
持分法適用会社に対する持分相当額	5	73
中間包括利益	442	1,099
親会社株主に係る中間包括利益	442	1,099
少数株主に係る中間包括利益	-	-

2014年度からアメリカンホーム医療・損害保険株式会社が連結対象となりました。

AIGジャパン・ホールディングス株式会社

連結ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

区分	2013年度 連結会計期間末 (2014年3月末時点)	2014年度 中間連結会計期間末 (2014年9月末時点)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	285,745	336,319
資本金等	91,540	97,365
価格変動準備金	2,140	2,466
危険準備金	3,195	3,551
異常危険準備金	136,844	166,787
一般貸倒引当金	183	251
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	44,751	53,694
土地の含み損益	△ 13,333	△ 13,321
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額 (税効果控除前)	△ 4,763	△ 5,519
保険料積立金等余剰部分	30,086	34,418
負債性資本調達手段等	1,500	1,500
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
少額短期保険業者に係るマージン総額	-	-
控除項目	△ 6,829	△ 5,333
その他	428	457
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	64,404	73,069
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	26,623	30,476
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	1,234	1,222
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	635	652
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	-	-
予定利率リスク(R ₅)	4,649	4,721
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	-	-
資産運用リスク(R ₇)	31,004	34,670
経営管理リスク(R ₈)	2,436	2,755
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	17,070	20,092
連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	887.3%	920.5%

2014年度からアメリカンホーム医療・損害保険株式会社が連結対象となりました。

注記事項

(1) 連結の範囲に関する事項

連結される子会社及び子法人等の数 4社

会社名 A I U損害保険株式会社

富士火災海上保険株式会社

A I G富士生命保険株式会社

アメリカンホーム医療・損害保険株式会社

(連結範囲の変更)

平成26年4月1日のアメリカン・ホーム・アシュアランス・カンパニー日本支店の日本法人化及び株式交換に伴い、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社を連結子会社としております。

(2) 会計方針の変更等に関する事項

① 有形固定資産の減価償却方法の変更

従来、当社グループは、有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、当中間連結会計期間より定額法に変更しております。当社グループは、当社の金融保険持株会社化及び2つの日本支店の日本法人化に続き、関係当局の認可を前提に保険連結子会社の合併を予定しており、グループ内の業務や拠点の統合を進めている中、該当する会社のシステムや有形固定資産への大規模な投資が見込まれるため、投資案件について投資形態のあり方等も含め、総合的に検討を行いました。これを契機に、有形固定資産の使用状況を見直した結果、経済的便益がその耐用年数にわたって平均的に消費されると見込まれるため、定額法がより適切に期間損益を反映させると判断し、会計方針の変更を行うものであります。

この結果、従来の方と比べて、当中間連結会計期間の減価償却費、経常損失および税金等調整前中間純損失が269百万円減少しております。

② 退職給付に関する会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当中間連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直しました。退職給付見込額の期間帰属方法は、期間定額基準及びポイント基準を採用しておりましたが、給付算定式基準へ変更しております。また、割引率の決定方法は、主に従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率を使用する方法を採用しておりましたが、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当中間連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当中間連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が203百万円減少し、利益剰余金が203百万円増加しております。なお、当中間連結会計期間の経常損失および税金等調整前中間純損失への影響は軽微であります。

(参考資料)

AIGグループの国内保険事業の営業成績

■損害保険事業

(単位:百万円)

会社名	期別	元受正味保険料 (含む収入積立保険料)			経常利益		
		2013年度 上半期	2014年度 上半期	増減率 (%)	2013年度 上半期	2014年度 上半期	増減率 (%)
富士火災海上保険株式会社		153,831	153,106	-0.5%	10,798	3,522	-67.4%
AIU損害保険株式会社		131,662	137,072	4.1%	3,096	2,007	-35.2%
アメリカンホーム医療・損害保険株式会社*		41,668	41,250	-1.0%	△ 6,769	△ 8,315	-
3社単純合算**		327,161	331,429	1.3%	7,125	△ 2,786	-139.1%

*上記表中のアメリカンホーム医療・損害保険株式会社の2013年度上半期の各数値については、当時のアメリカン・ホーム・アシュアランス・カンパニー(日本支店)のものを記載しています。

**「3社単純合算」は、AIGグループの国内損害保険事業の営業成績(単体ベース)の単純合算を示したものです。

なお、2013年度上半期についても、当時のアメリカン・ホーム・アシュアランス・カンパニー(日本支店)の決算数値を合算に含めています。

■生命保険事業

(単位:百万円)

会社名	期別	保険料収入			経常利益		
		2013年度 上半期	2014年度 上半期	増減率 (%)	2013年度 上半期	2014年度 上半期	増減率 (%)
AIG富士生命保険株式会社		40,933	46,074	12.6%	△ 2,936	1,012	-